

明治大学大学院
情報コミュニケーション研究科
特別講義

江戸時代における礼儀作法とふるまい

ミヒャエル・キンスキー教授

ミヒャエル・キンスキー教授はドイツのゲート大学フランクフルト・アム・マインの日本学で日本文化史・日本思想史を担当する。

本講義でキンスキー教授が取りあげるのは、江戸時代における社会の規範化という現象である。食事の作法と読書文化は江戸時代に発展したが、それは都市生活と経済成長との関連で見ることが可能である。指南書としての作品はたくさん書かれるようになり、社会において人びとへの方向付けとして機能した。これらの書物は実用的で、あらゆる生活状況における礼儀正しいふるまいのための規則を集めていた。

この講演では、食を楽しむという豊かな文化をコンテクストとして、礼儀作法について光を当てる。そして、この文化は同時に、江戸時代の「安定社会」の表れとしても解釈されうるだろう。

討論者 ● 谷口眞子教授（早稲田大学文学学術院）

日時 ● 2015年4月17日（金）18:00～ 申込不要

会場 ● 明治大学駿河台キャンパス リバティタワー16F 1165 教室

言語 ● 講演、質疑応答ともに日本語

主催 ● 明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

後援 ● 明治大学国際連携機構

お問い合わせ先 ● 明治大学大学院情報コミュニケーション研究科

http://www.meiji.ac.jp/dai_in/infocom/

